

# あったかトーク

第21号 新春号

**ひぐちのりこ事務所**  
(青葉区版)  
発行人 樋口 典子

1959年仙台生まれ 管理栄養士  
社民党仙台市議員  
●健康福祉常任委員  
●次世代育成調査特別委員会 副委員長  
●議会運営委員

## 臨時福祉給付金など37議案を審査



新たな年がスタートしました。常日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。

2016年仙台市議会第4回定例会は12月5日から20日まで開かれ、補正予算案など37県の議案審査を行いました。

一般会計の補正予算では2014年4月の消費税率引き上げによる低所得者対策のための臨時福祉給付金(1人あたり15,000円)とその事務費に29億7千万円余、総合行政ネットワーク環境と仙台市庁内LAN接続系用機器等取得に7,980万円余、青葉区五橋に開設予定の病児・病後児保育施設への600万円、

広瀬第二中学校の校庭設備費1億7千万円、小中学校のトイレ改修(13校)と音楽室空調設備(10校)に6億円余、旭ヶ丘市民センター及び(仮称)青葉区障害者福祉センター建設予定地の追加調査費1,500万円など総額37億8,500万円余が計上され、いずれも可決されました。

を引き上げる条例改正案も上程されました。

### 政務活動費の

### インターネット公開に向け検討会議

仙台市議会議員に月35万円支給されている政務活動費は「政務活動費使途に関する手引書」に基づき、議会事務局でのチェック、議長審査などで厳格に対応してきました。

さらなる透明性、情報公開を前向きに検証していく必要から、議会内においてネット公開を議論の柱とする「検討会議」を設置していくことを決めました。一部の会派から条例改正案が提案されましたが、社民党会派は同じ考えを持つ会派とともに「市議会の検討会議で公開の手順などを十分に協議すべき」との立場から継続審査に同意をしました。

### 政治分野への男女共同参画を推進する意見書などが可決

社民党会派が提案した「政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める件」をはじめ「少人数学級の推進などさらなる教育環境の充実を求める件」の2件の意見書が採択されました。

### 小中学校教職員の給与支給は 県費から市費へ

「市町村立学校教職員給与負担法」の改正によって、これまで県からの支給だった小中学校教職員の給与は権限委譲により、2017年度から仙台市が支給することになり、そのための教職員給与法を改正するなどの条例改正案が提案されました。

また、市職員の給与改定(月例級平均0.2%、期末・勤勉手当0.1月分)震災以来見送られてきた市長および議員などの期末手当(0.3月)

### 市議会 ひぐちコラム

昨年は女性参政権行使から70年目の節目の年でした。しかし、衆議院における女性議員の割合は190カ国中154位地方議会の女性議員の割合は12.1%で女性が一人もいない議会は市・区議会で6.2%、町村議会では34.3%と遺憾な状況です。政策を議論し、決定する政治の場に今まで以上に女性の参画が求められています。

韓国や台湾において、女性議員が増えた地方では保育予算が増えたそうです。超少子高齢社



会の日本で、これまで女性議員が主に担ってきた子育てや高齢者対策などの分野の政策の充実が急務ですし、このことが男女ともに暮らしやすい社会につながります。

北欧に「平和と平等は手を携えてやってくる」という言葉があるそうです。平和が脅かされている政治状況において、政治分野の一人ひとりの自己決定権などを大事にする男女平等の動きをもっと作っていききたいですね。

### ひぐちのりこ 市政報告&おしゃべり会

市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合っていきたいと思えます。お子様連れでも参加いただけます。

◆日時/1月26日(木) 15時~(1時間くらい)

◆会場/ひぐちのりこ事務所 ◆人数/10名様くらい

出入り 自由 無料

**ひぐちのりこ事務所**  
〒980-0011  
仙台市青葉区上杉3丁目9-31  
プリマヴェーラ杜王101  
TEL.022-398-8171  
FAX.022-398-8172

セブンイレブン側からお入り下さい。  
お気軽にお立寄り下さい!



# ひぐちのりこ 東奔西走!

10月  
11日

## 社民党仙台市議団 2017年度予算要求提出



社民党仙台市議団として毎年恒例の来年度予算要望を市長に提出しました。

項目は青葉区内の「中央1丁目地区の雨水対策、錦ヶ丘児童館等100人を超える児童クラブの大規模化の解消、貝ヶ森地区などのスクールゾーンの整備、仙台高校南バス停付近に横断歩道を設置」など各区の要望も含め161件。

「子どもの権利条例」「交通基本条例」「給付型奨学金条例」「公契約条例」「公文書管理条例」5つの条例の制定を求めるとともに、併せてそれぞれの施設や基盤の整備を図ることを求めています。回答は1月18日が予定されています。

10月  
31日 11月  
2日

## 台風10号で被災した 清水町(北海道)など視察

社民党市議団として北海道内の自治体を視察しました。清水町は8月末の台風10号によって町の中心を流れるペケレベツ川の氾濫によって流域の住宅や農地が大きな被害を受けました。清水町は東日本大震災直後に本市に対し、町の特産品「牛玉ステーキ丼」の支援をいただきました。

今回は被災の現状把握と奥山市長のメッセージを届けるお礼も兼ねた視察でした。そのほか小樽市の総合博物館、札幌コンサートホールの現地視察、札幌市の発達障害者総合支援事業と自転車利用総合計画について視察を行いました。



11月  
8日 10日

## 健康福祉常任委員会視察

8日は横浜市役所で、待機児童対策、保育-教育コンサルジュ、子育て支援事業について伺いました。

9日は、日経DUAL「共働き子育てしやすい街」ランキング2015、一位となった静岡市で子育て事業について伺いました。待機児童となったお子さんを各区に設置してある施設で保育する静岡市独自の待機児童対策、こども園について、地域子育てについて伺いました。また神奈川県食肉検査所の視察も行いました。

最終日には練馬区の「まちの保育園小竹向原」の地域子育て支援についてのレクチャーを受け、現地の視察。午後からは板橋区のいたばし生活サポートセンターでの生活困窮者自立支援について、事業を担っているNPOの方からお話を聞きました。



11月  
18日

## ひぐちのりこ 市政報告&おしゃべり会

地元、貝ヶ森市民センターで「ひぐちのりこ市政報告会&おしゃべり会」を行いました。

地域の方を中心に多くの皆様にご参集くださり、第3回定例会や常任委員会の報告、地域での取り組みなどについて話をいたしました。

地域の皆様方からは、高齢化について、道路状況や除雪について、避難所について、政務活動費の使い方、放射性廃棄物の状況、貝ヶ森小学校跡地利用について、貝ヶ森地区の文化祭などについて、多岐にわたるお話をいただきました。しっかりと施策に生かしてまいります。



# たくさんの皆さんの声を聞きます!

## 11月27日 福岡市職員音楽会 「復興応援コンサート」

福岡市職員の音楽愛好家で構成される福岡市職員音楽会実行委員会の「復興応援コンサート」が青葉区通町復興公営住宅および宮城野区田子西復興公営住宅で開催され、多くの入居者の皆様の参加のもと開かれました。クラシックから歌謡曲、「花は咲く」などの演奏に大いに盛り上がりました。今年は仙台市職員の有志の皆様も参加しコラボに

よる演奏も行われました。復興応援コンサート、仙台での開催は今年で4回目を数えます。私が福岡に視察に行った際、食事に行った屋台で福岡市職員音楽会の代表の方と隣り合わせになったことからはじまった仙台での復興応援コンサート。ご縁がつながりうれしく思います。

### コンサート2016

福岡市職員音楽会実行委員会 & 仙台市職員有志



## 12月22日 「仙台市防災都市推進条例(仮称)」骨子説明会

仙台市では震災復興計画に基づき復興が進められてきました。東日本大震災から6年、震災の記憶の風化などが進むことへの懸念などの状況を踏まえ、防災・減災の意識を醸成するための政策条例として、賛同する仙台市議会の会派で「仙台市防災都市推進条例(仮称)」の策定に向けて、骨子案を取りまとめ説明会を行いました。会場のエル・パーク仙台にはおよそ60人(うち20人ほどが女性)が集まり、策定チームの議員から骨子案の説明があり、その後、沿岸部や都市部などそれぞれの地域で違いがあるが、どのように認識しているか、災害時要援護者支援の考え方など様々なご意見が寄せられました。



## 12月16日 健康福祉常任委員会で質問

現在保育所の3歳以上児の昼食の主食分は国からの予算がないため、公立保育所では1カ月あたり1000円を保護者から徴収しています。しかし民間の認可保育所では700円から3000円と3倍以上も幅があります。生活困窮者などに対する補助制度もありません。同じ基準の食事内容であるのに、この差については疑問です。仙台市の見解と指導について質しました。

## ひぐちのりこ 主な活動日誌

10月30日~11月1日	会派視察	11月30日	次世代育成調査特別委員会
11月3日	第28回青葉区民まつり、2016みやぎアピール大行動	12月5日~20日	仙台市議会第4回定例会
11月8日~10日	健康福祉常任委員会視察	12月21日	次世代育成調査特別委員会
11月18日	ひぐちのりこ市政報告&おしゃべり会	12月22日	「仙台市防災都市推進条例(仮称)」骨子説明会
11月21日	健康福祉常任委員会	1月4日	平成29年新春のつどい
11月24日	2016仙台の夕べ	1月6日	平成29年仙台市消防出初式
11月28日	議会運営委員会	1月8日	仙台市成人式

### これからの主な予定

1月10日	平成29年青葉区老連新春祝賀会	1月24日~25日	次世代育成調査特別委員会視察
1月11日	フェミニスト議員連盟 パワーアップ集中講座	1月29日	原発のない東北の復興を考えるシンポジウム
1月18日	会派予算要望回答	1月31日	みやぎ生協メンバーとの懇談

## 人権侵害行為に対する市長の認識

基本的人権の尊重を基本原理の一つとする日本国憲法の下で、人権に関する各般の施策が講じられていますが、課題も指摘されています。アメリカ大統領選挙でも見られたように人種差別、同性愛者差別、女性蔑視発言などの人権侵害行為が人気を得る傾向にあり大きな懸念を抱くところですが、市長の認識について聞きました。

他人への思いやりの希薄化や各人の様々な違いについての理解が不十分であること、また厳しい経済状況により所得の格差が広がったことや、地域社会の中での自分の居場所が見つけれず、孤立する方が増加していることも拍車をかけている。地域経済の発展に努めるとともに仙台の「ともに支え合う」精神をさらに大きく育て互いの違いを認め合い、誰もが安心して暮らせるような社会の実現に努めたいとの答弁でした。

## 通所型短期集中予防サービス事業での複合プログラム

介護保険法の改正により新しい総合事業として実施される通所型短期集中サービス事業では、これまでそれぞれ行ってきたものが、運動・口腔・栄養の複合プログラムと



して示されましたが、具体的な内容などについて質しました。また参加対象者について、法改正により主治医の意見書が求められなくなったことについても質しました。

運動機能向上、食生活改善、口腔機能向上に複合的に取り組むことにより、介護予防の効果が増すと期待している。また主治医の意見については、地域包括支援センターなどで、専門職が本人の希望により豊齢力チェックリストを活用していく、また既往症のある方などについては利用者に対して、主治医に事業参加の可否や留意点を確認してもらうこととしているとの答弁でした。

## ブラック企業から働く人を守る教育

仙台市では就労支援を必要とする生活保護受給者で直

ちに就労が困難な方に対して就労支援を行っています。寄せられた相談で職場のパワーハラスメントで退職をし、精神不安定になった事例もありました。相談内容の4分の1が仕事(就労等)、一割がメンタルです。働く人を守るための教育などについて質し、仙台では労働に関する制度をまとめたガイドブックを作成し、啓発を行うとともに、労働相談室の開設、労基署への紹介などの対応を行っている。関連機関等と連絡を密にし、働く人に有益な情報の周知・啓発や労働問題の早期解決に努めたいとのことでした。

その他、放射性汚染物質の焼却処分問題、臨時福祉給付金の支給について、児童館ネットワークについて、指定管理者制度見直しの検討について質問しました。また、保育所等への事務等でマイナンバーを利用することが示されましたが、マイナンバーを記入しなくても申請が受理されることについて説明と周知を求めました。

## 「ひぐちのりこ市議会ニュースレター あったかトーク」

発送のお手伝いなどをしてくださる方を募集です。

- ◆住所の変更などがありましたら、お知らせください。
  - ◆【ひぐちのりこ】メールニュース配信中(不定期)
  - ◆市政へのご意見、ご提言をお寄せください。
- 下記のEメールアドレスもしくは事務所までご連絡ください。

E-mail : nohiguchi@kaigamori.com



<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

twitter アカウント名  
#nohiguchi

facebook ページ

<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172